



舟渡小だより

令和8年10月30日

令和8年度

11月号

志村五中・舟渡小 響き合う学びのエリア

板橋区立舟渡小学校

校長 相澤 紀夫

深まる秋に

校長 相澤 紀夫

暑い暑い日も、雨、雨の日も一段落し、穏やかな秋空の下、子どもたちは元気に学校生活を送っています。二学期は一番長い学期であり、落ち着いて学べる学期ですが、子どもたちの人間関係の変化がよく見られる学期でもあります。トラブルも増えがちですが、このような中で人との関わり方や集団生活の意味について学ぶ機会でもあります。教職員は子どもたちの言動に耳を澄まし、行動を見守り、思いに寄り添いながら日々を重ねています。

実りの秋 収穫

今年も5年生が育てた稲の収穫が行われました。地域の方とともに育てた稲が、今年もたくさん実をつけました。「大変だあ〜」と言いつつ子どもたちは楽しそうに脱穀していました。来年度は、新しく敷地内に作られる水田での田植えが始まる予定です。

2年生が育てたさつまいも、これももうすぐ収穫です。楽しみです。



芸術の秋 今年は展覧会

11月6日（金：児童鑑賞日）、7日（土：一般・保護者鑑賞日）は展覧会です。今回のテーマは「ふなっこ てんらんかい」

～えがいて つくって 自分らしく つながれ 広がれ みんなの思い～

子どもたちは、笑顔あふれる展覧会をめざして創作に取り組んでいます。子どもたちの思いが作品を通して、ご家庭に、地域につながり広がっていくことでしょう。

学問の秋 校外学習

3、4年生は地域に飛び出し、舟渡の町の様子を調べます。舟渡にある防災や福祉、地域行事などについて見学したりインタビューしたりしています。1、2年生は秋探しに出かけています。小さな小さな大冒険です。6年生は先日国会議事堂に行きました。緊急地震速報誤報も受けながら、議事場の見学、法案の模擬審議など貴重な体験をしました。



読書の秋 図書室

図書委員会の声かけのもと、たくさんの子もたちが図書室を訪れて本を借りています。大事そうに本を抱え、うれしそうに校長室の前を通り過ぎる子どもたちをよく見かけます。たっぷり本の世界に浸れる季節です。



言葉を大切にする教室づくり

人権教育担当

生活指導主幹教諭 田中 直也

本校では、人権尊重教育推進校として、「言語環境を整える」「人と関わる」「人権を意識した授業を行う」の3つを柱に、人権教育を進めています。今回は、言語環境を整える取組を紹介します。

言語環境を整える取組として、全クラスで「広げたい言葉（ふわふわ言葉）」と「なくしたい言葉（ちくちく言葉）」について話し合い、子どもたちから挙がった言葉を各教室に掲示しています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。

言葉は、人によりよい関係を築くための大切な手段であるとともに、一人ひとりの考え方や心の育ちにも深く関わっています。温かく認め合う言葉に触れることで、自分も相手も大切にする気持ちが育まれると考えます。言語環境を整える取組を通して、子どもたちが互いを尊重し、誰もが安心して過ごせる教室づくりを目指しています。